TOSTEM トステム株式会社

サマンルーフ・カーブルーフ・レーネルーフ　取付け説明書

■施工される方へのお願い

●ここに示した注意事項は、製品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたって必ずお守りください。
●施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

●本説明書で使われるマークには以下のような意味があります。

⚠注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

※ ▭ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

⚠注　意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

〔設置条件〕
●本製品は一般地域用です。積雪強度は600N/m²(61.2kg/m²)であり、積雪量に換算すると20cm相当です。これを超える積雪の多い地域には取付けないでください。
●本製品は木造住宅の2階以下に取付けられる設計となっております。ただし、出幅3尺以下については3階に取り付けられます。
●母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
●風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
●崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。

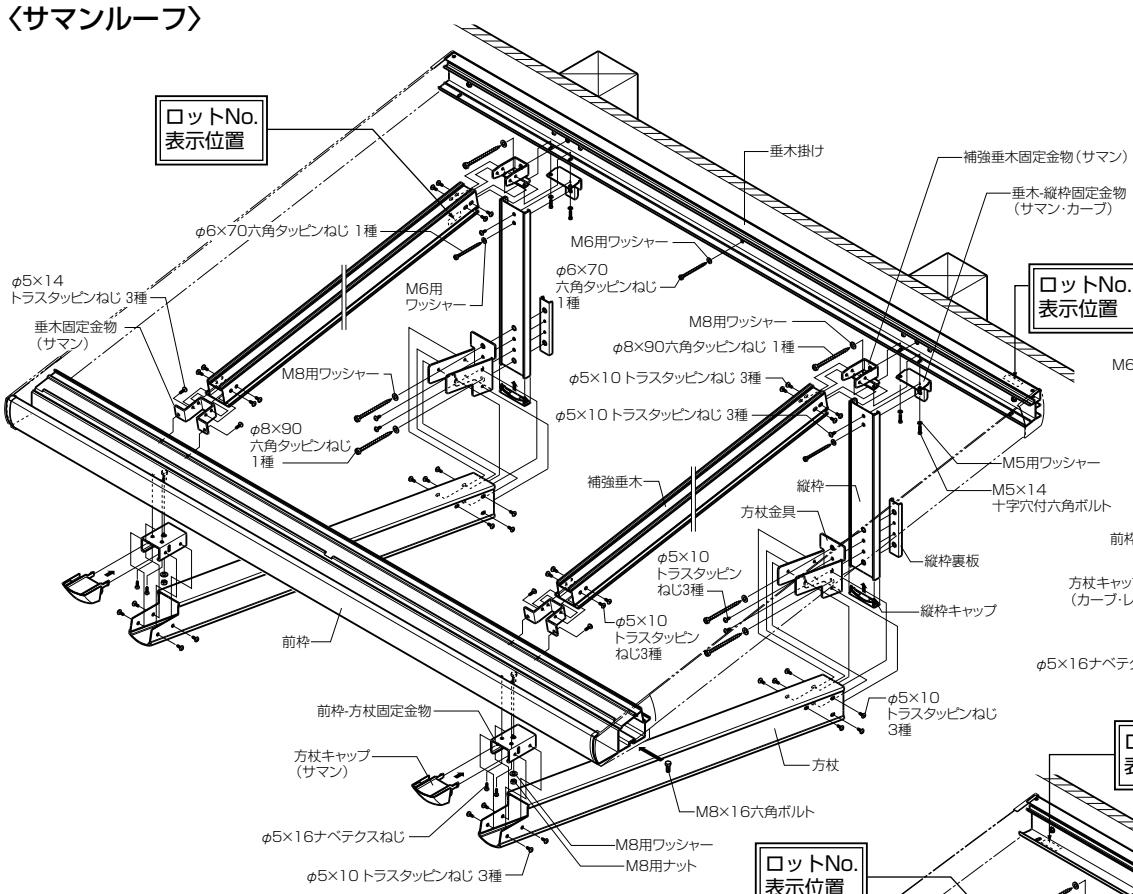
〔躯体および外壁材の確認〕
※製品の強度確保のため、建築図面等で下記事項を必ず確認してください。
●方杖・縦枠及び連結用ブラケットを取付ける部分には柱等の構造材があることを必ず確認し、必ず構造材に取り付けてください。外壁部分だけで固定することは絶対に行なわないでください。
●外壁厚(通気胴縁含む)が30mmを超えるところには取付けできません。
●金属製サイディングには取付けできません。
●外壁材への穴あけは外壁材の取付け説明書の注意事項にしたがってください。
●方杖・縦枠の移動は、指定範囲内にしてください。

〔施工時の注意〕
●タッピンねじの下穴は、指定されたドリルであけてください。
●組立でねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。
●シーリングは指定個所に必ず行なってください。
●改造・変更をしないでください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。
●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。
●屋根パネルは当社指定品をご使用ください。

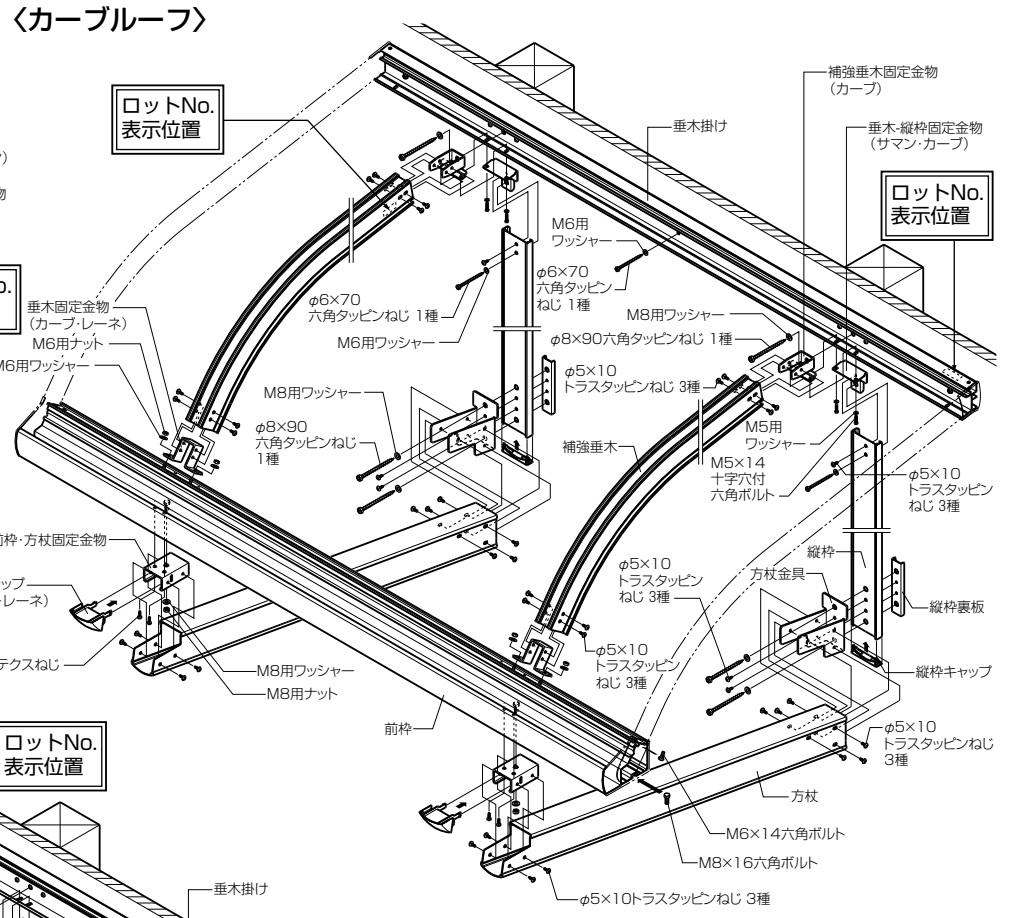
〔施工完了時の確認〕
●取付け後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタ付きがないか、点検してください。

■構造説明図

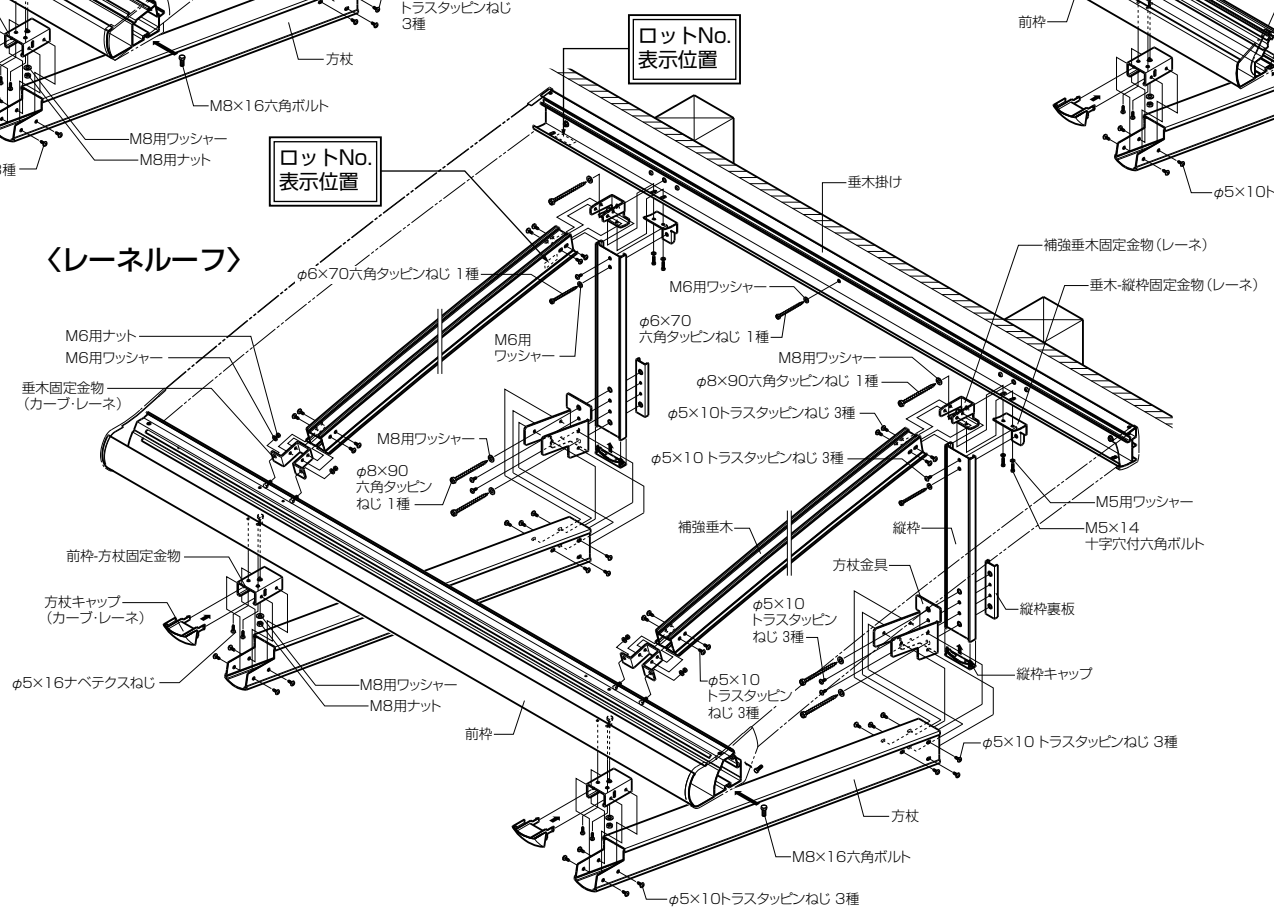
〈サマンルーフ〉



〈カーブルーフ〉

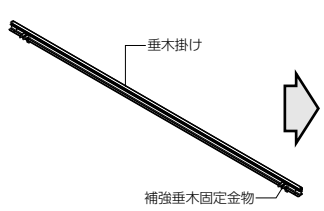


〈レーネルーフ〉

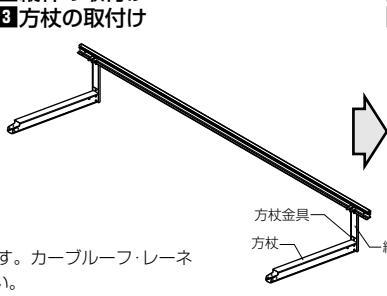


■取付け手順

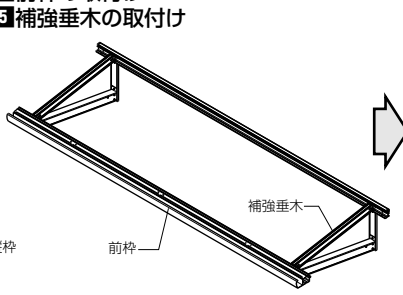
1 垂木掛けの取付け



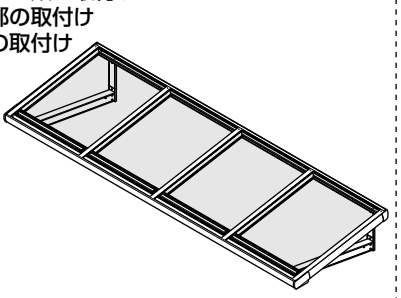
2 縦枠の取付け
3 方杖の取付け



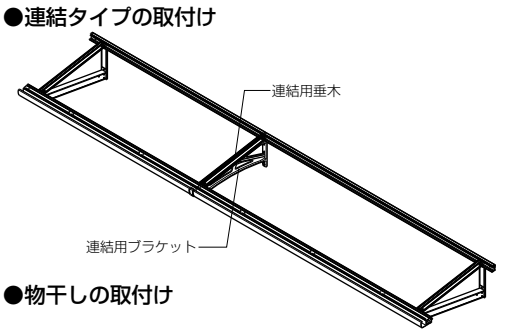
4 前枠の取付け
5 補強垂木の取付け



6 キャップ類の取付け
7 屋根部の取付け
8 雨樋の取付け



●連結タイプの取付け



●物干しの取付け

※本説明書はサマンルーフで説明しています。カーブルーフ・レーネルーフも同様の手順で取り付けてください。
※**7 屋根部の取付け**は別梱包のテラス取付け説明書をご覧ください。

■取付け詳細

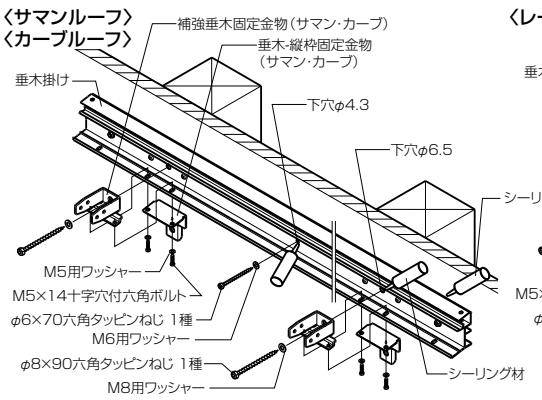
1 垂木掛けの取付け

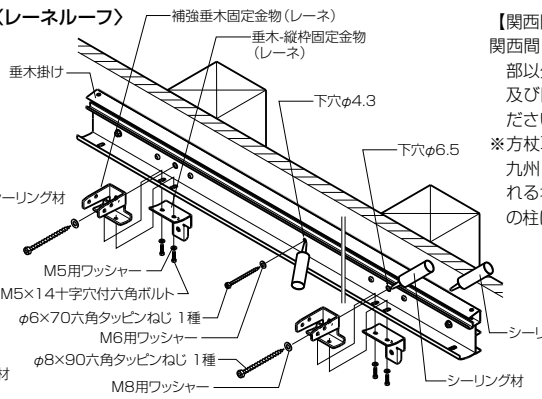
①補強垂木固定金物取付け位置に同金具と垂木-縦枠固定金物を図のように取り付けます。
②①取付け部はφ8×90六角タッピンねじ1種その他はφ6×70六角タッピンねじ1種で、指定の下穴をあけ、垂木掛けを固定します。取り付ける際は、必ず取付け後ねじが固定されているか手締めで確認してください。
水準器で水平を出してください。

⚠注　意

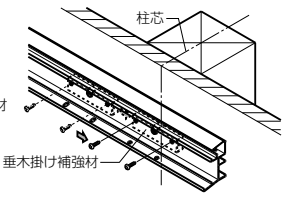
垂木掛けは必ず躯体の柱等の構造材に取り付けてください。

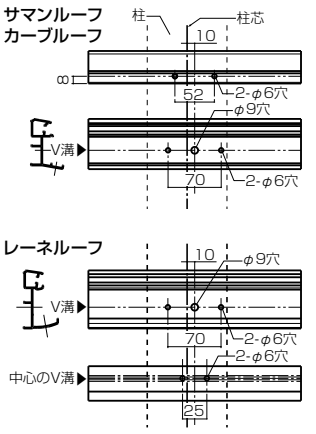
※躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と十分打ち合わせをし、必要に応じて補修してから取り付けてください。





【関西間・九州四国間の場合】
関西間・九州四国間の場合、垂木掛けに方杖取付け部以外の躯体取付け用の穴はあいていません。柱及び間柱位置に合わせて、φ6.5の穴をあけてください。
※方杖取付け部の穴は関西間に合わせてあります。九州・四国間またはそれ以外で穴が柱位置からずれる場合は垂木掛け裏の補強材を取り外し、躯体の柱に合わせて図のように取付け直してください。



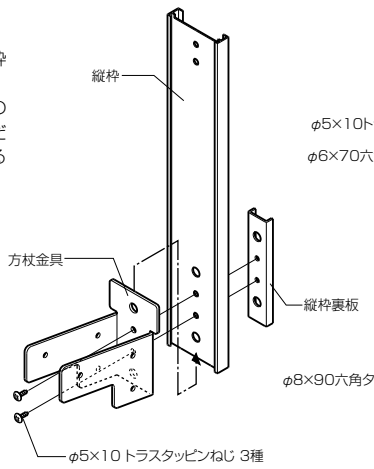


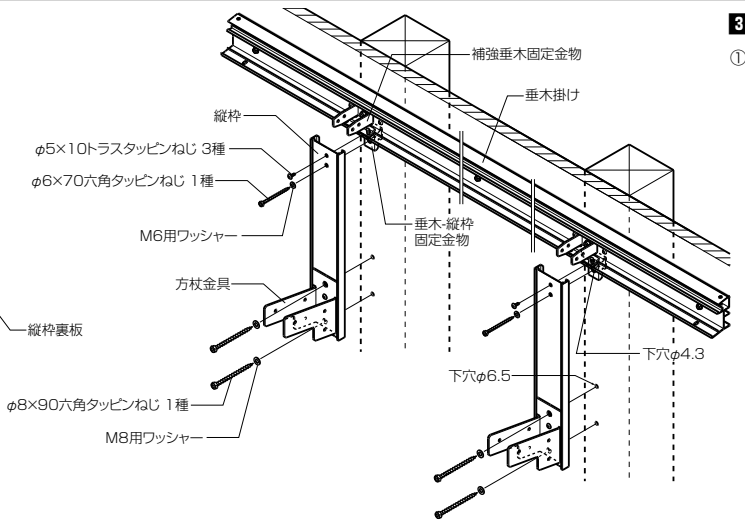
2 縦枠の取付け

①図のように縦枠に部品を取り付けます。
②φ5×10トラスタッピンねじで縦枠を垂木掛けに接続します。
③縦枠の垂直を出してから縦枠を指定のねじで下穴をあけてから固定してください。取付け後ねじが固定されているか手締めで確認してください。

⚠注　意

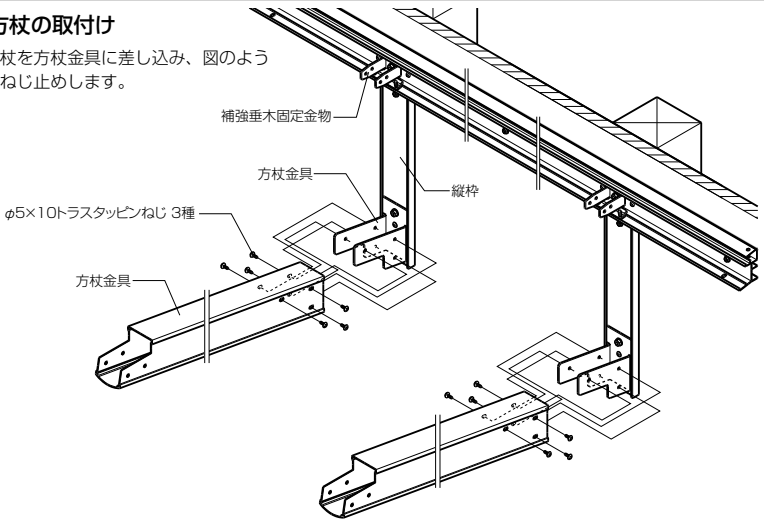
縦枠は必ず躯体の柱に固定してください。





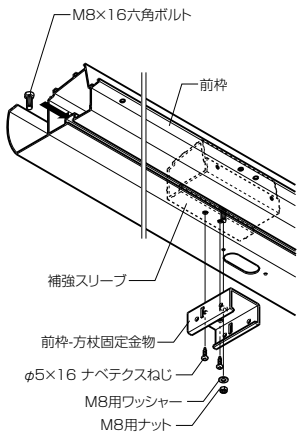
3 方杖の取付け

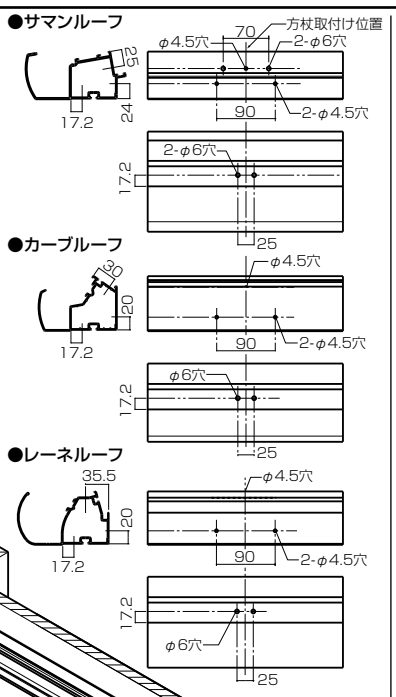
①方杖を方杖金具に差し込み、図のようにねじ止めします。



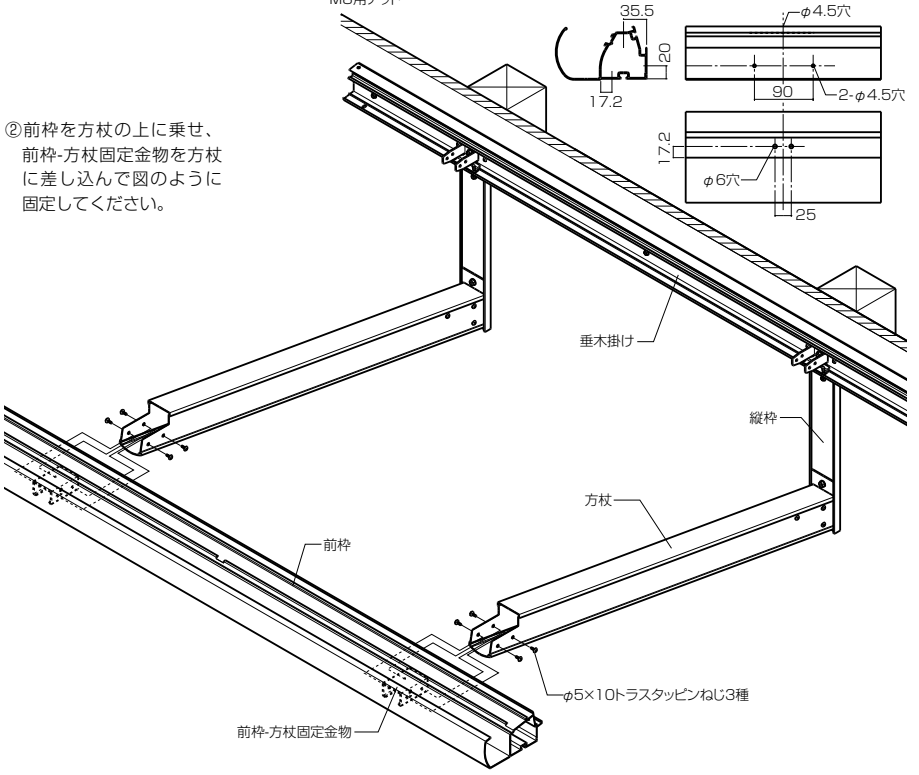
4 前枠の取付け

①前枠に前枠-方杖固定金物を取り付けます。前枠の加工穴（図参照）に合わせてボルトで固定した後、φ5×16ナベテクスねじで前枠内部のスリーブに固定してください。
※垂木掛けの取付けの際、方杖の取付け位置をずらした場合、前枠-方杖固定金物も同じ寸法だけ取付け位置をずらす必要があります。スリーブを取り外し、方杖取付け位置に合わせて付け直してください。（図参照）



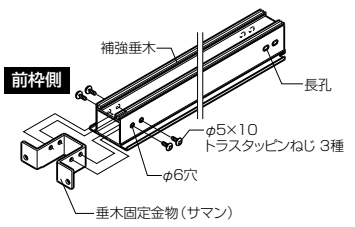


②前枠を方杖の上に乗せ、前枠-方杖固定金物を方杖に差し込んで図のように固定してください。

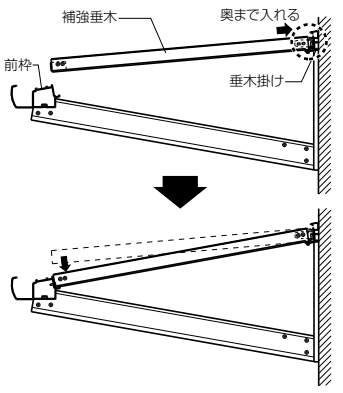


5 補強垂木の取付け

①補強垂木に垂木固定金物を取り付けます。

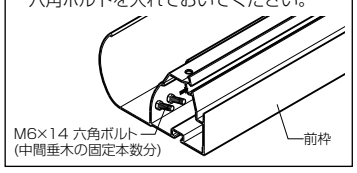


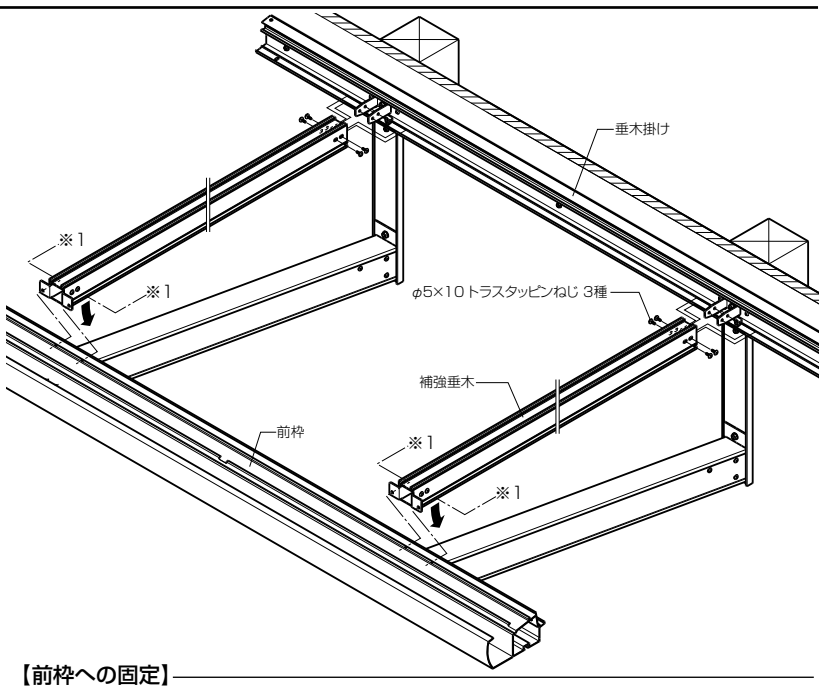
②補強垂木を垂木掛け、前枠に取り付けます。補強垂木の差し込みは垂木掛けの金物の奥まで入れた後、おろして納めてください。



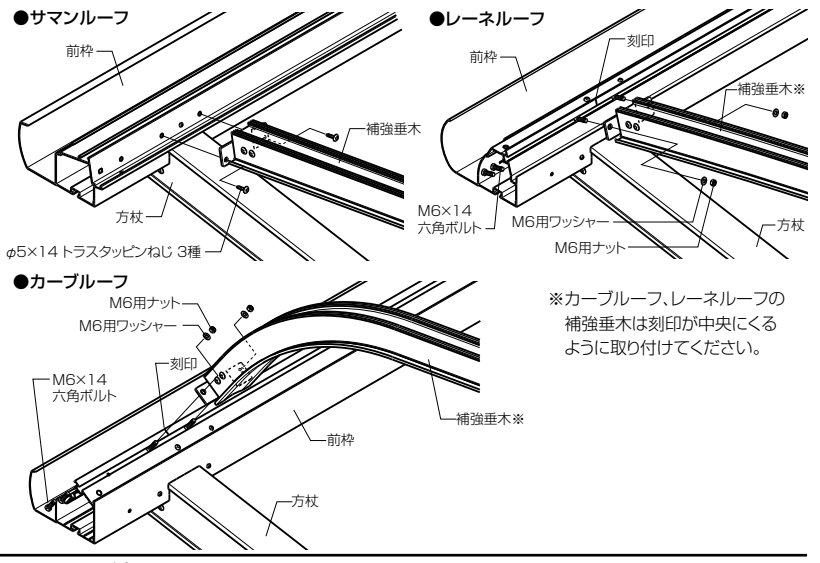
③補強垂木を納めた後、垂木掛け、前枠に固定します。
前枠への固定（※1）は機種によって異なります。右図を参照してください。

※カーブルーフ、レーネルーフの場合
両側の補強垂木を取り付けた後では中間垂木を固定する六角ボルトが入りません。両側の補強垂木を取り付ける前に必ず前もって中間垂木の固定本数分のM6×14六角ボルトを入れておいてください。





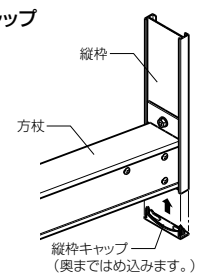
【前枠への固定】



※カーブルーフ、レーネルーフの補強垂木は刻印が中央にくるように取り付けてください。

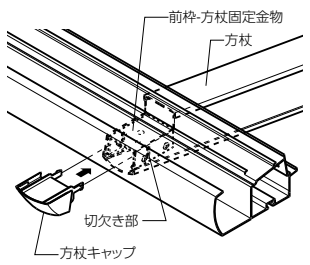
6 キャップ類の取付け

●縦枠キャップ



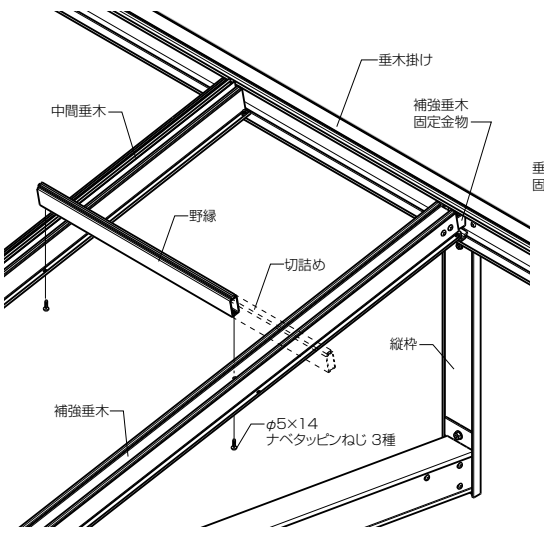
●方杖キャップ

方杖キャップのツメが前枠-方杖固定金物の切欠き部（■部）に入るまではめ込みます。



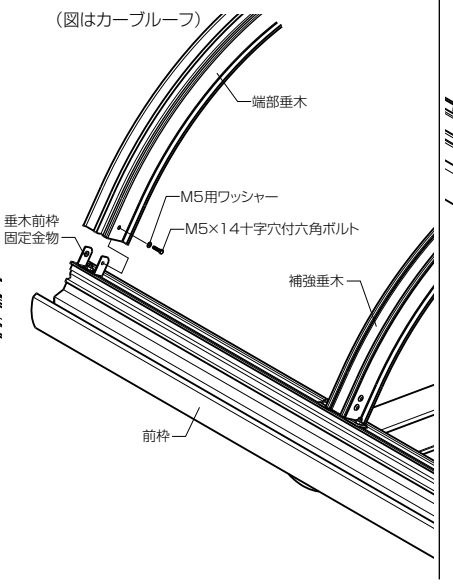
7 屋根部の取付け

●屋根部の取付けは別梱包のテラス取付け説明書を参照ください。尚、①出巾4尺、②カーブルーフ、レーネルーフの端部垂木の取付けの場合は次のようにしてください。
①出巾4尺の屋根部の取付けの際、補強垂木に取り付ける野縁を切り詰めてください。



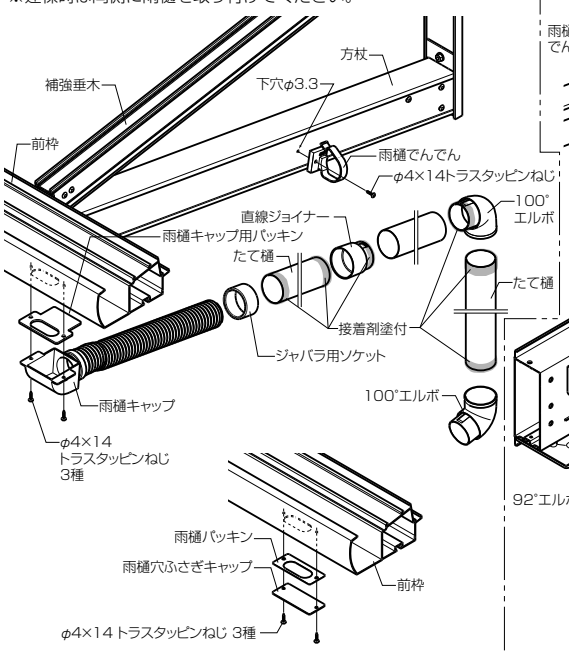
②カーブルーフ・レーネルーフの端部垂木の取付けの際、前枠への固定がφ5×14ナベタッピンねじでは困難な場合、M5×14十字穴付六角ボルトを使用して固定してください。

（図はカーブルーフ）

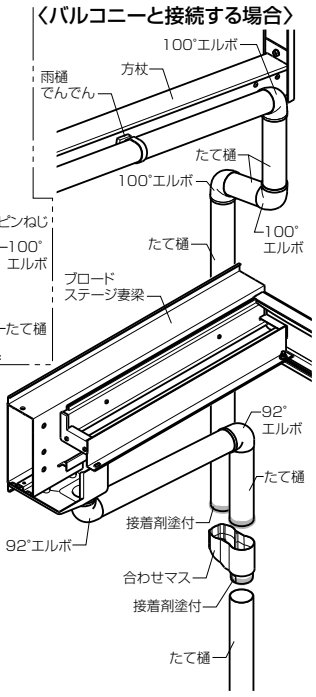


■雨樋の取付け

●雨樋、雨樋穴ふさぎキャップを図のように取付けてください。
※連棟時は両側に雨樋を取り付けてください。



〈バルコニーと接続する場合〉

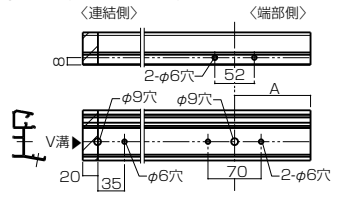


■連結タイプの場合

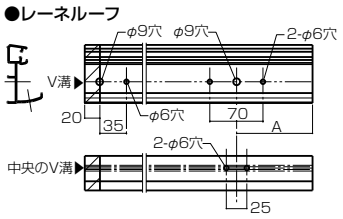
1 前枠垂木掛けの加工

■垂木掛け

●サマンルーフ・カーブルーフ

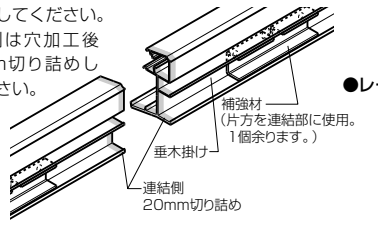


●レーネルーフ



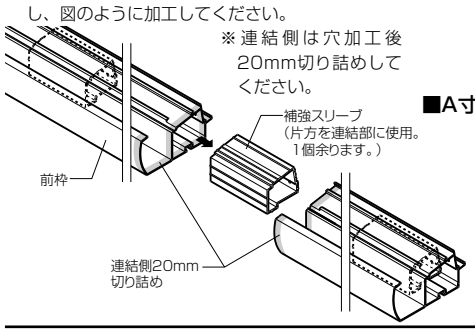
●垂木掛けの連結部に補強材を使用します。連結側の垂木掛けに付いている補強材を外し、図のように加工してください。

※連結側は穴加工後20mm切り詰めしてください。



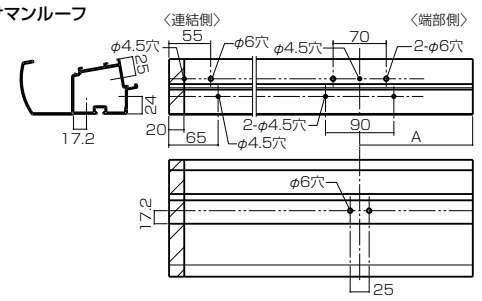
●前枠の連結部に補強スリーブを使用します。連結側の前枠の内に付いている補強スリーブを取り外し、図のように加工してください。

※連結側は穴加工後20mm切り詰めしてください。

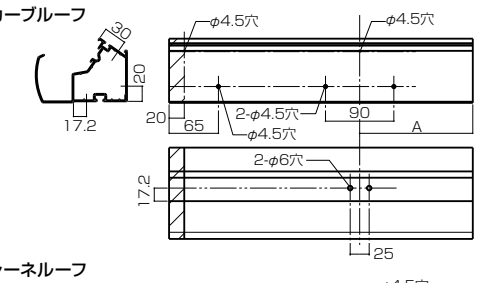


■前枠

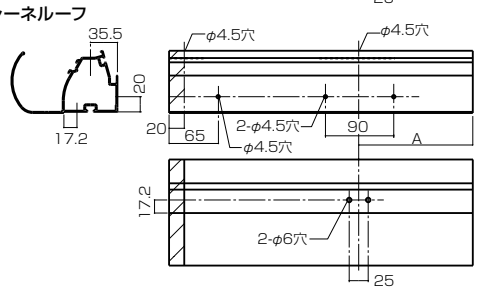
●サマンルーフ



●カーブルーフ



●レーネルーフ



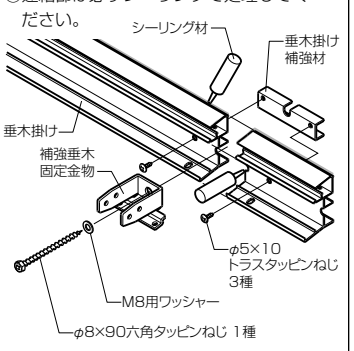
■A寸法表

		関東間	関西間	九州･四国間
2.5間（1.0+1.5）	1.0間の端部側	470	435	560
	1.5間の端部側	320	300	425
3.0間（1.5+1.5）	1.5間の端部側	320	300	425
3.5間（1.5+2.0）	1.5間の端部側	320	300	425
	2.0間の端部側	170	165	290
4.0間（2.0+2.0）	2.0間の端部側	170	165	290

2 垂木掛けの取付け

①垂木掛けの連結部に垂木掛け補強材を図のように取り付けた後、躯体の柱にφ8×90六角タッピンねじ1種で図のように固定します。

②連結部は必ずシーリングで処理してください。



⚠注　意

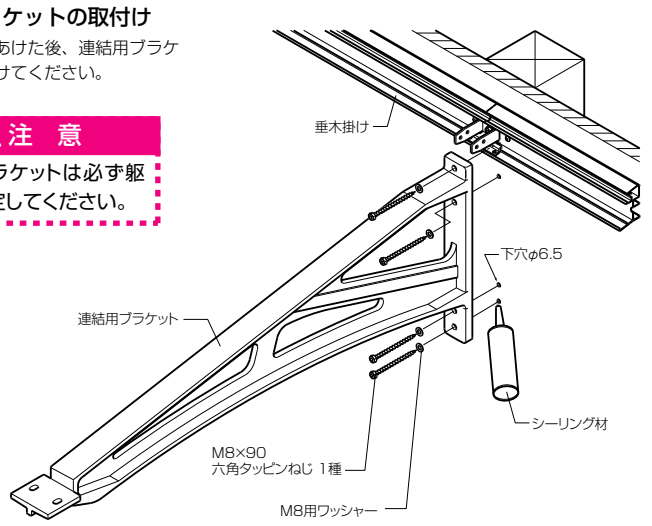
連結部に必ず躯体の柱があることを事前に確認してください。

3 連結用ブラケットの取付け

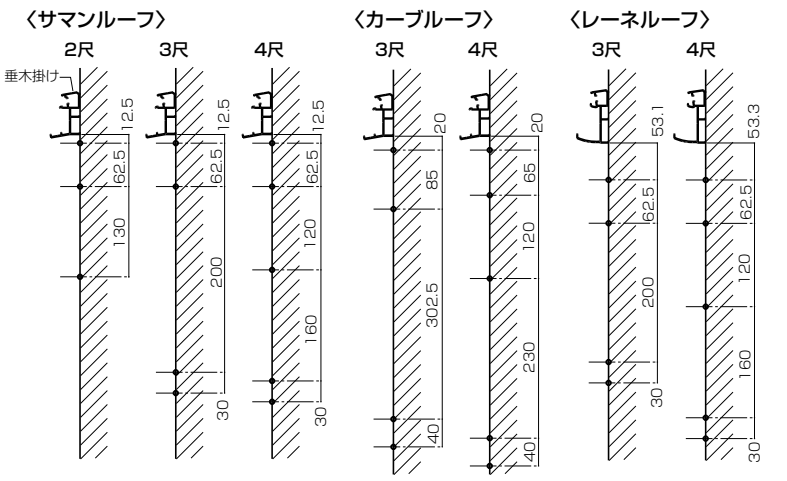
●躯体に下穴をあけた後、連結用ブラケットを取り付けてください。

⚠注　意

連結用ブラケットは必ず躯体柱に固定してください。



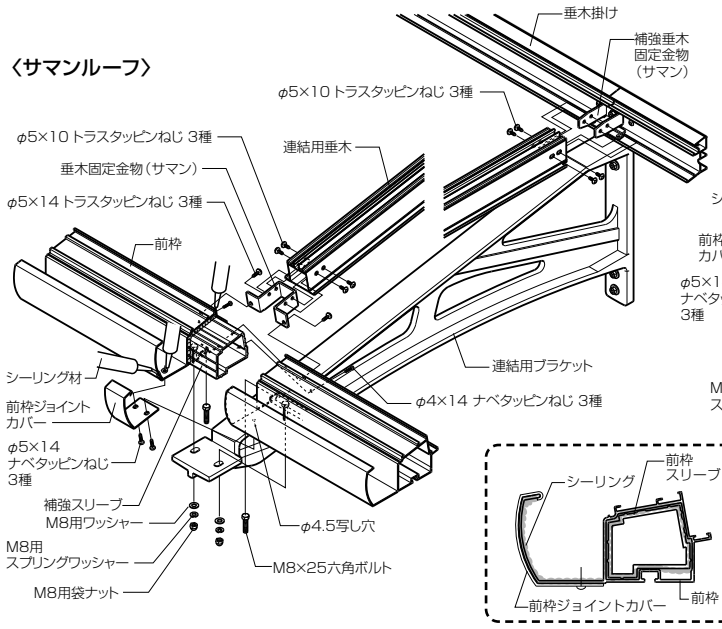
●下穴位置は下記を参照してください。



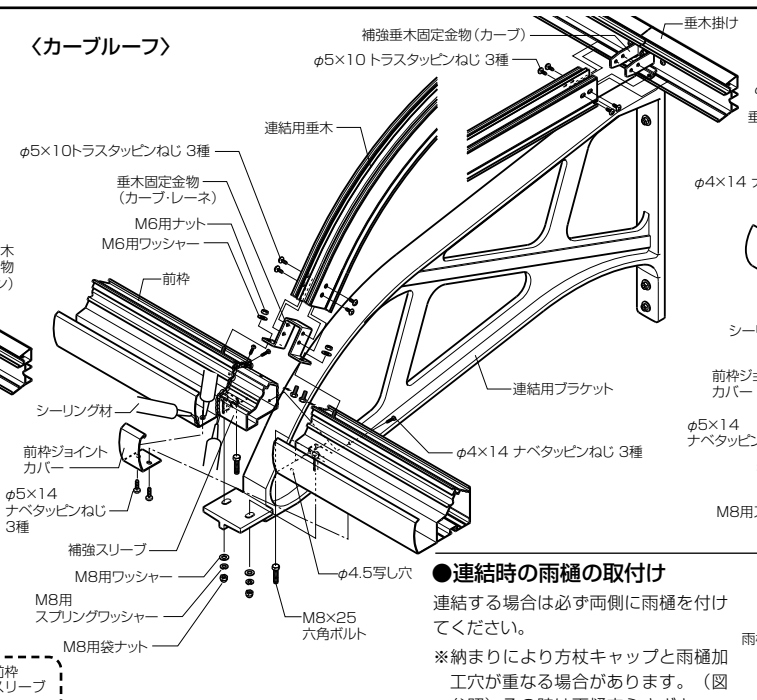
1 前枠連結部の組立て

①連結側の前枠ボルトホールにM8×25六角ボルトを各1個ずつ入れます。
②前枠を補強スリーブにねじ止めします。
③連結用ブラケットをボルト止めします。
④連結用垂木に垂木固定金物を取付け、前枠、垂木掛けに取付けてください。
※連結用には必ずシーリングで処理してください。（図参照）

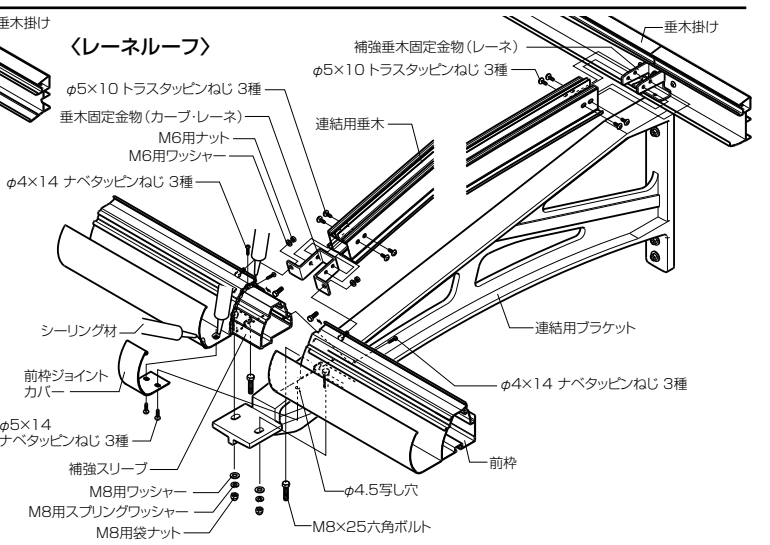
〈サマンルーフ〉



〈カーブルーフ〉



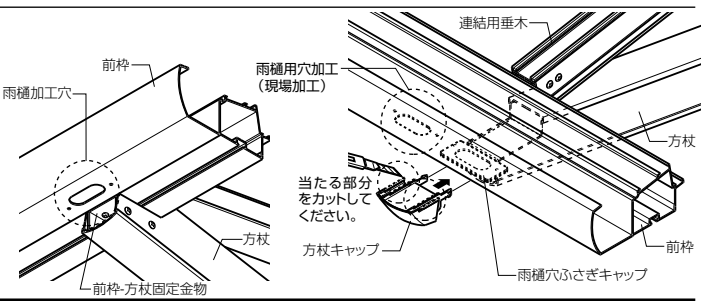
〈レーネルーフ〉



●連結時の雨樋の取付け

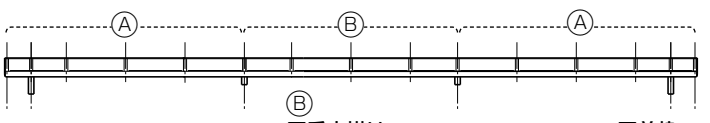
連結する場合は必ず両側に雨樋を付けてください。

※納まりにより方杖キャップと雨樋加工穴が重なる場合があります。（図参照）その時は雨樋穴ふさぎキャップを取付け後、方杖キャップの当たるところをカットして取り付けてください。雨樋は違う場所に穴を開けなおし、取り付けてください。



■3連結の場合

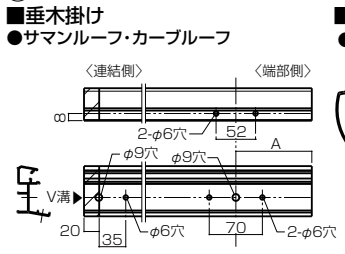
3連結の場合、端部屋根 Ⓐ と中間屋根 Ⓑ で加工が異なります。
加工後は連結の取付け手順に従って取り付けてください。



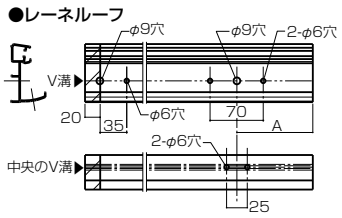
Ⓐ

■垂木掛け

●サマンルーフ・カーブルーフ



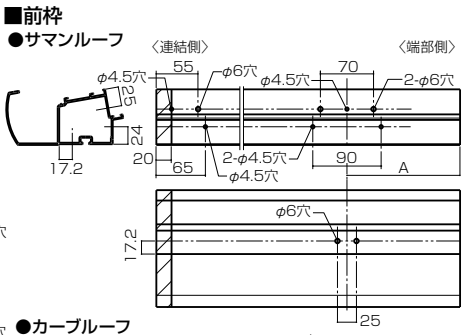
●レーネルーフ



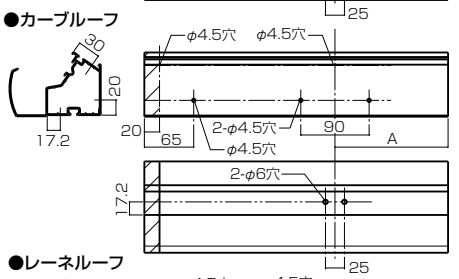
※端部屋根Ⓐは連結側のみ20mm切り詰めになります。

■前枠

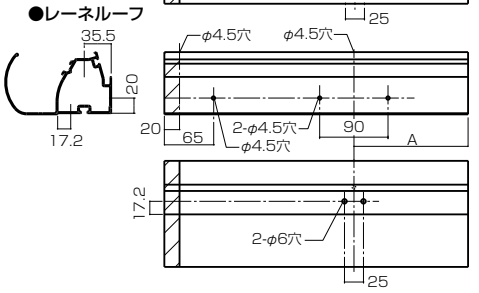
●サマンルーフ



●カーブルーフ



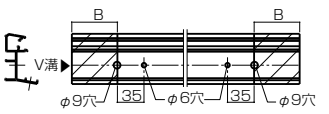
●レーネルーフ



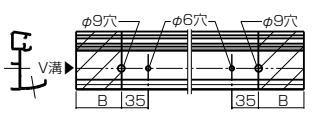
Ⓑ

■垂木掛け

●サマンルーフ・カーブルーフ



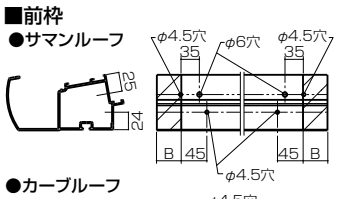
●レーネルーフ



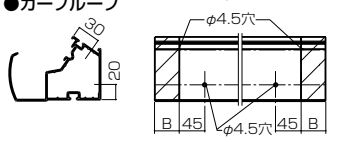
※中間屋根Ⓑは両側B寸法切り詰めになります。

■前枠

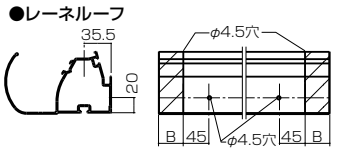
●サマンルーフ



●カーブルーフ

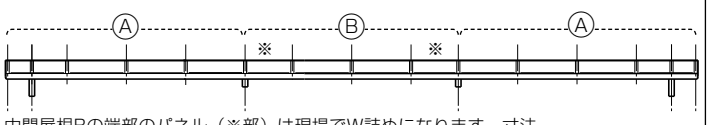


●レーネルーフ



	端部屋根Ⓐ A寸法			中間屋根Ⓑ B寸法			※部パネルP寸法		
	関東間	関西間	九州･四国間	関東間	関西間	九州･四国間	関東間	関西間	九州･四国間
4.5間（1.5+1.5+1.5）	320	300	425	175	165	227.5	605	675	612.5
5.0間（1.5+2.0+1.5）	320	300	425	160	97.5	160	680	742.5	680

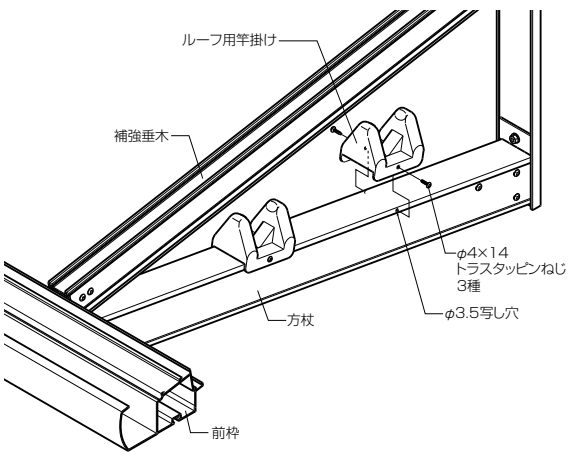
注）※部パネルの実寸法は上記寸法－17になります。



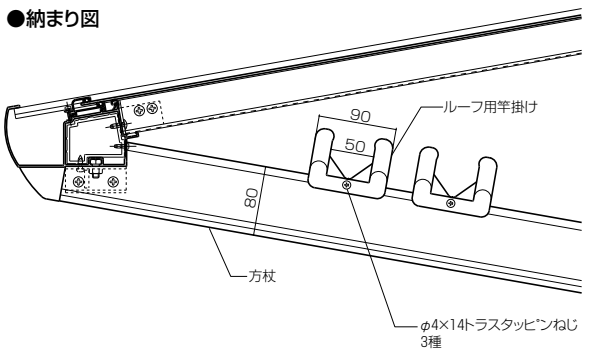
中間屋根Bの端部のパネル（※部）は現場でW詰めになります。寸法は上記の表を参照してください。

■ルーフ用竿掛け（オプション）の取付け

方杖上の任意の場所に図のようにφ3.5の写し穴をあけた後、ねじ止めしてください。

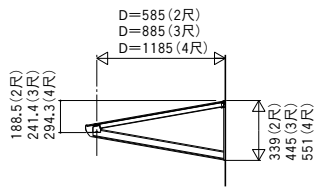


●納まり図

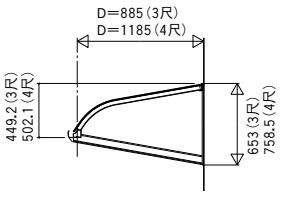


■姿図

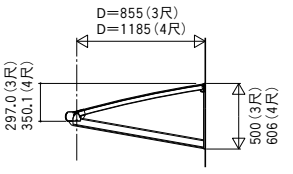
●サマンルーフ



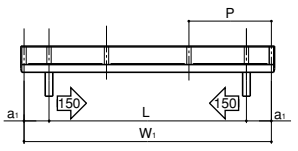
●カーブルーフ



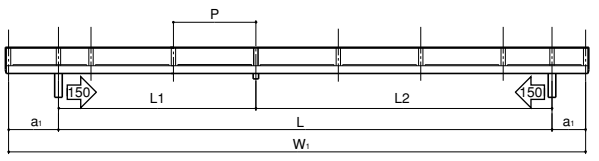
●レーネルーフ



●単体

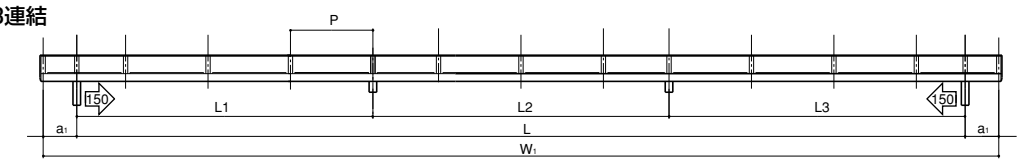


●2連結



※ a1:端部垂木芯～方杖芯寸法
W1:端部垂木芯々寸法
150 150:柱調整範囲

●3連結



■寸法表

	関東間						
	W1	L	L1	L2	L3	a1	P
0.5間	1520	930				295	760
1.0間	2280	1840				220	
1.5間	3040	2750				145	
2.0間	3800	3660				70	
2.5間（1.0+1.5）	5320	4570	1830	2740		450 300	
3.0間（1.5+1.5）	6080	5480	2740	2740		300	
3.5間（1.5+2.0）	6840	6390	2740	3650		300 150	
4.0間（2.0+2.0）	7600	7300	3650	3650		150	
4.5間（1.5+1.5+1.5）	8810	8210	2740	2730	2740	300	
5.0間（1.5+2.0+1.5）	9720	9120	2740	3640	2740	300	

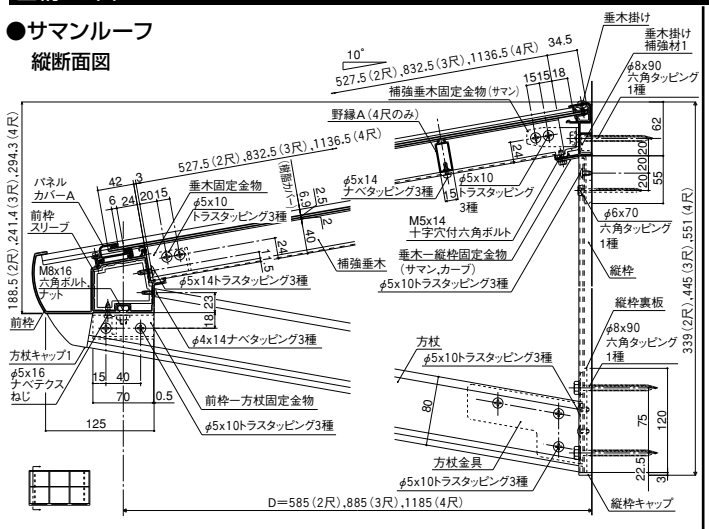
	関西間						
	W1	L	L1	L2	L3	a1	P
0.5間	1640	975				3325	820
1.0間	2460	2055				2025	
1.5間	3280	3010				135	
2.0間	4100	3965				67.5	
2.5間（1.0+1.5）	5740	5045	2045	3000		415 280	
3.0間（1.5+1.5）	6560	6000	3000	3000		280	
3.5間（1.5+2.0）	7380	6955	3000	3955		280 145	
4.0間（2.0+2.0）	8200	7910	3955	3955		145	
4.5間（1.5+1.5+1.5）	9550	8990	3000	2990	3000	280	
5.0間（1.5+2.0+1.5）	10505	9945	3000	3945	3000	280	

	九州・四国間						
	W1	L	L1	L2	L3	a1	P
0.5間	1640	975				332.5	820
1.0間	2460	1930				265	
1.5間	3280	2885				197.5	
2.0間	4100	3840				130	
2.5間（1.0+1.5）	5740	4795	1920	2875		540 405	
3.0間（1.5+1.5）	6560	5750	2875	2875		405	
3.5間（1.5+2.0）	7380	6705	2875	3830		405 270	
4.0間（2.0+2.0）	8200	7660	3830	3830		270	
4.5間（1.5+1.5+1.5	9425	8615	2875	2865	2875	405	
5.0間（1.5+2.0+1.5）	10380	9570	2875	3820	2875	405	

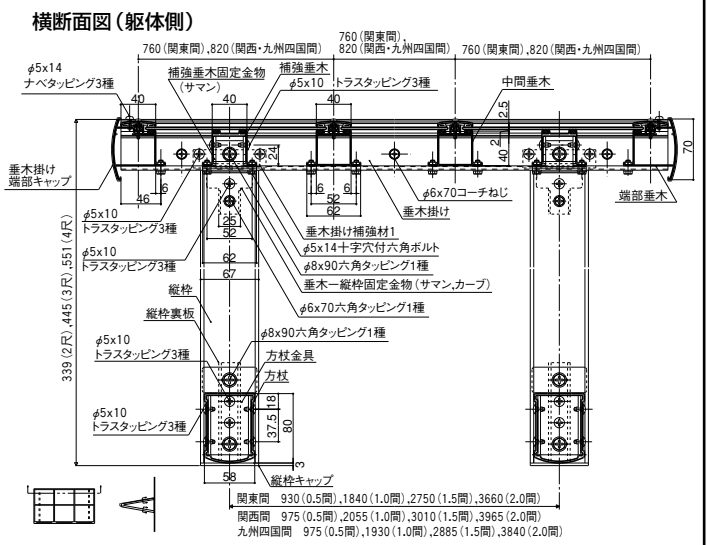
■納まり図

●サマンルーフ

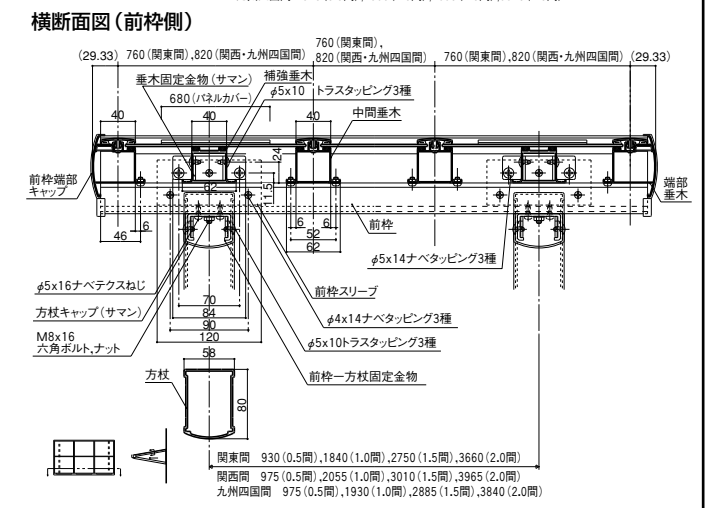
縦断面図



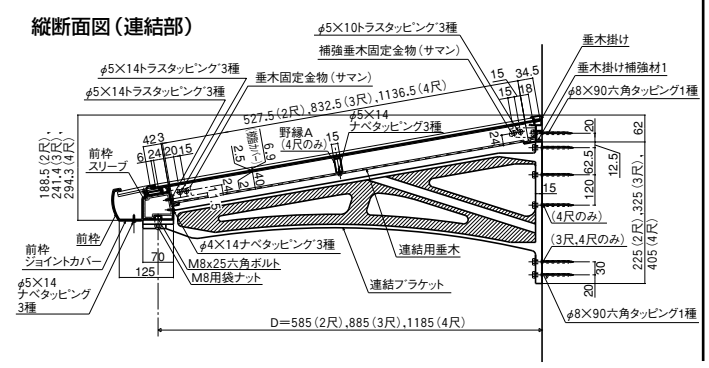
横断面図（躯体側）



横断面図（前枠側）

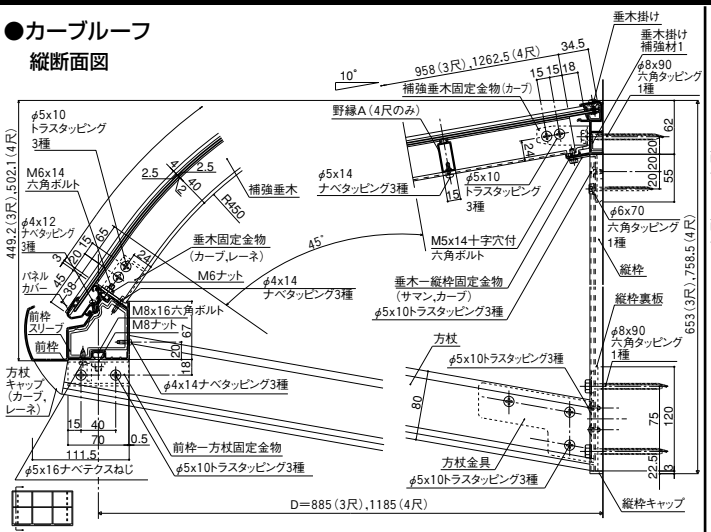


縦断面図（連結部）

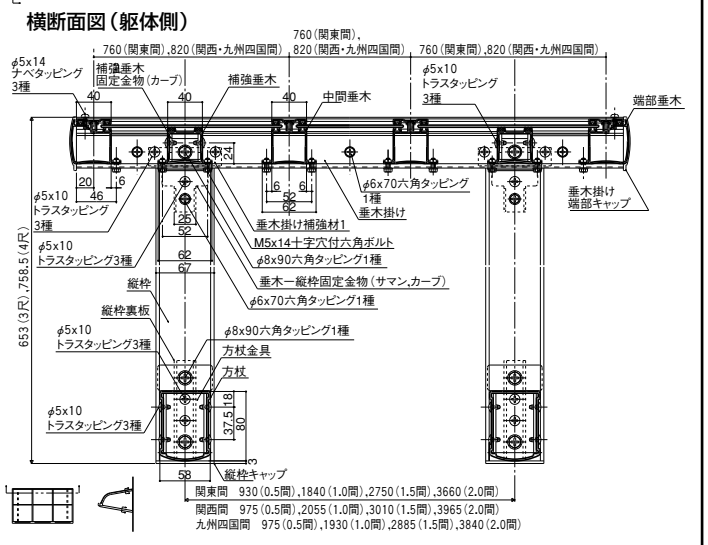


●カーブルーフ

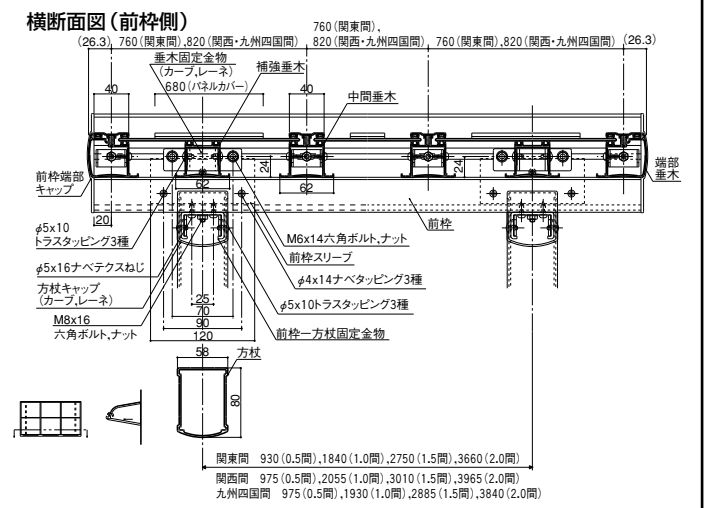
縦断面図



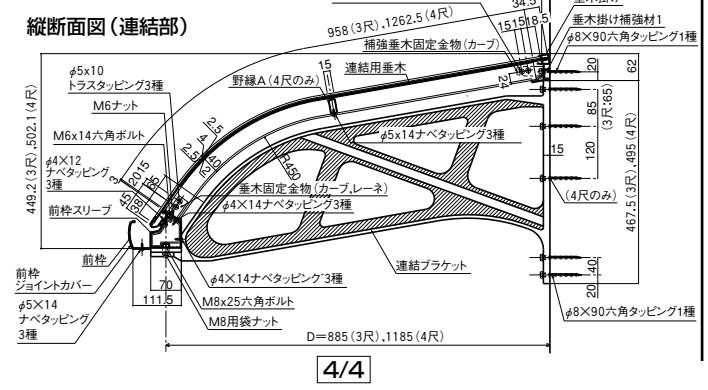
横断面図（躯体側）



横断面図（前枠側）

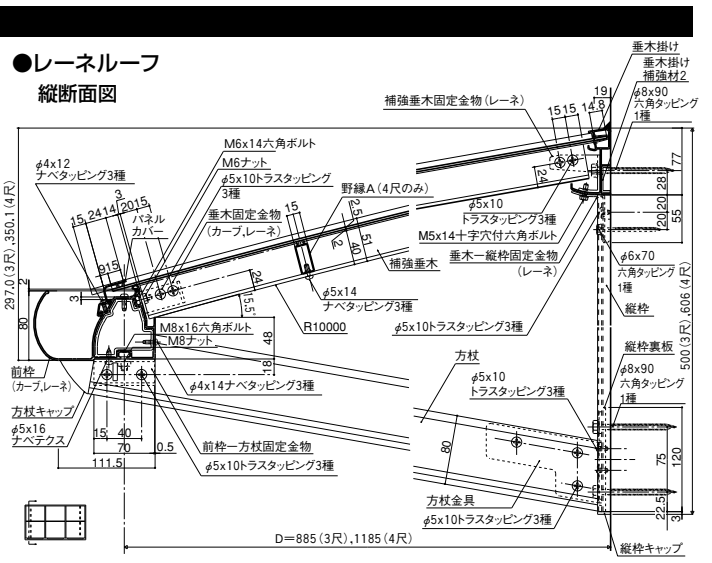


縦断面図（連結部）

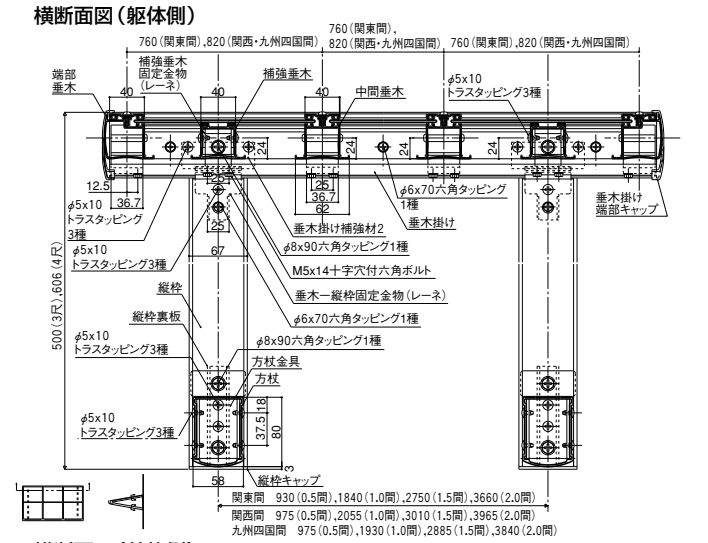


●レーネルーフ

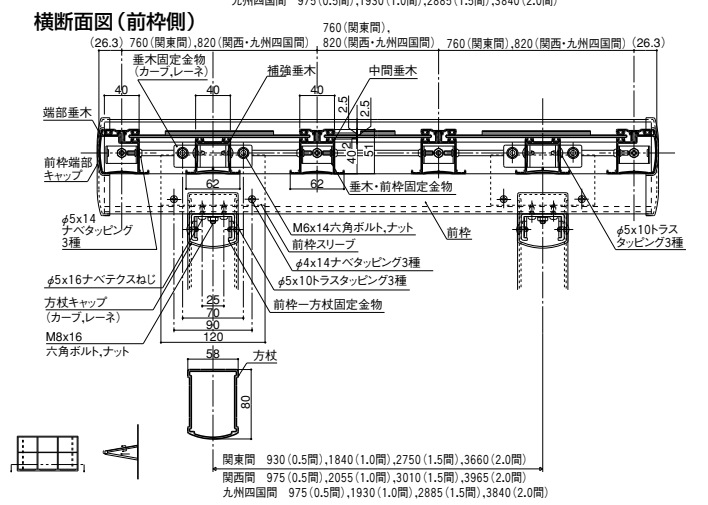
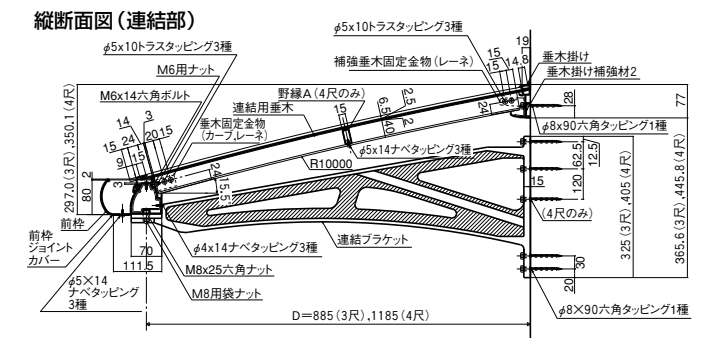
縦断面図



横断面図（躯体側）



横断面図（前枠側）



縦断面図（連結部）